

藻岩山・円山における 動物生息状況調査報告書

－哺乳類・水生生物編－

2009 年（平成 21 年）3 月

札幌市博物館活動センター

はじめに

人口190万人を擁する大都市に隣接して、太古の自然の姿をとどめる藻岩山、円山は、札幌を代表する自然環境のひとつであり、郷土愛のシンボルとして、無くてはならない都市のランドスケープを形成しています。

樹種豊かな原始林の天然記念物を含むこれらの山は、先人たちが今日まで、大切に守り伝えてきた世界的にも貴重な自然であり、これまでの人々のさまざまなかわりを宿した歴史的な存在でもあります。

我々の世代もまた藻岩山、円山のかけがえのない自然を大切に守り伝えていかなければならない責務を負っています。

札幌の自然と人をテーマとする札幌市博物館活動センターでは藻岩山、円山の自然の実態を把握するため、平成12年度（2000年度）～15年度（2003年度）にかけて藻岩原始林・円山原始林の植生調査と資料収集を実施してきました。

その成果は平成17年（2005年）3月「藻岩原始林・円山原始林の植物リスト及び収集資料目録」としてまとめております。

ひきつづき、平成17年度（2005年度）から平成19年度（2007年度）にかけては、まだ十分に把握されていない藻岩山、円山に生きる動物のくらしについての調査を実施し、このたび報告書としてまとめました。

この調査では主に哺乳類と水辺にくらす生き物を対象とし、四季を通じたその棲息の状況を痕跡や観察などを中心に把握してきました。

この報告書のデータを眺めると、市街化の中で孤島のように見える円山、後背地の山々とつながる藻岩山、それぞれの環境で動物たちがどのように生きているのか、そのくらしぶりや違いなどが見えてきます。

また、藻岩山で越冬するエゾシカや水生生物の垂直分布、海からやってきて藻岩山でくらすカニなど、興味ある棲息状況を確認することができます。

今後もこれらの調査を基点とした経年の変化を把握し、あるいは調査対象を広げるなどして、藻岩山、円山の多様な自然についての情報を得るための調査を継続していきたいと考えております。

本書が、一般の方から専門家まで広く活用され、札幌の自然を探求する一助としていただければ幸いです。

札幌市博物館活動センター

目 次

口絵（カラー）

- 1 空から見た藻岩山・円山（南西側より）／空から見た藻岩山・円山（北側より）
- 2 調査対象地域（藻岩山・円山の空中写真）
- 3 藻岩山・円山の標高分布図／藻岩山・円山の傾斜分布図
- 4 藻岩山・円山の植生図
- 5 藻岩山・円山の主な植生・環境
- 6 藻岩山・円山の哺乳類の確認位置
- 7 エゾシカの確認位置（南側から）／エゾシカの越冬可能な場所
- 8 藻岩山・円山で見られた哺乳類とその痕跡 1
- 9 藻岩山・円山で見られた哺乳類とその痕跡 2
- 10 藻岩山・円山の水生生物の確認位置
- 11 藻岩山・円山で見られた両生類
- 12 藻岩山・円山で見られた水生生物

はじめに ----- 1

目次 ----- 2

（総論）

1 章 調査概要 ----- 4

1-1 調査目的 ----- 4

1-2 藻岩山・円山の自然環境の概要 ----- 5

1-3 藻岩山・円山における過去の調査 ----- 6

1-4 調査方法の概要 ----- 9

1-5 調査結果の概要 ----- 10

（各論）

2 章 哺乳類の生息状況 ----- 12

2-1 調査目的 ----- 12

2-2 調査方法 ----- 12

2-3 調査結果 ----- 16

2-4 考察 ----- 31

3 章 水生生物の生息状況-----	38
3-1 調査目的-----	38
3-2 魚類の調査方法と結果-----	39
3-3 両生類の調査方法と結果-----	47
3-4 ザリガニの調査方法と結果-----	56
3-5 その他の水生生物の結果-----	60
3-6 考察-----	62
4 章 標本収集と普及用標本の製作-----	65
4-1 標本収集-----	65
4-2 普及用標本の製作-----	67
5 章 自然情報システムへのデータ入力-----	70
資料編-----	72
藻岩山・円山およびその周辺地域の動物目録-----	72
引用文献-----	78
謝辞-----	78
用語解説-----	79